

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社ケーブルテレビ富山
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>・超高速ブロードバンド網、それも 100Mbps 超の光ファイバ網を今すぐ全国100%整備する理由が見当たらない。</p> <p>当社の属する富山県では、既に光ファイバと同軸ケーブルを組み合わせたケーブルテレビネットワーク(光・同軸ハイブリッド)により県内全世帯のブロードバンド化を達成しており、放送・電話・インターネットのいわゆるトリプルプレイ・サービスを提供し、高い普及率(ケーブルテレビ接続率約60%)を誇っている。</p> <p>今回の光の道構想では、光ファイバを引くと言っているだけで、利用者である市民や住民の方が何を欲しているのか、という視点がよく見えません。また、当県のような成功事例があるにもかかわらず、なぜケーブルのネットワークでは不十分で、新しくFTTH を引きなおす必要があるのか、きちんと議論されていないように感じています。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>・苦しいながらも、競争は必要。</p> <p>地域が活力をなくし、日本全体が元気を失っている今、地域に密着したサービスこそが、大切です。当社を含むケーブルテレビ事業者は、地域に生まれ、地域で住民の皆さんのために頑張ってきました。</p> <p>現在、大手の通信事業者など、手ごわい競争相手が迫っていますが、大資本の攻勢に打ち勝つには、小さいながらもネットワークを活かして、サービスの重要さを理解してもらうことが、ケーブルテレビの本道であり、加入してもらえる最短距離だと理解しています。今後とも、地域で頑張るケーブルテレビに温かい応援をお願いします。</p>